



エー・ディ・エム株式会社

平成 22 年 5 月 11 日

報道関係者各位

エー・ディ・エム株式会社

(JASDAQ:3335)

イスラエル「Explay Ltd.」の高度な技術力を継承
Explay Japan、超小型クラス1レーザープロジェクタエンジンを開発

JASDAQ 上場「エー・ディ・エム」と技術系 VC「モバイルベンチャーキャピタル」が協力

JASDAQ 上場の半導体商社「エー・ディ・エム株式会社」(本社:大阪市中央区)は、技術系ベンチャー キャピタルである「モバイル・インターネットキャピタル株式会社」(本社:東京都港区)の協力を得て、「Explay Japan 株式会社」(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山中要、以下、Explay Japan)を設立しました。Explay Japan の設立は、超小型プロジェクタ用レーザーエンジンの開発で高い技術力を誇るイスラエルの「Explay Ltd」(清算手続き完了)が保有する知的財産権を取得し、製品開発の継続、製造販売を目的にしたものであり、事業開始のための準備を進めてきましたが、このたび本格的な事業活動を開始することとなりました。

現在開発中の超小型(ピコ)プロジェクタ用レーザーエンジンは、レーザー光源と LCOS を利用した世界最小クラスの小型化を実現するもので、年内には体積7ccクラスの小型エンジンの発表を予定し、今後も更なる小型・低消費電力エンジンの量産化を計画しております。

<当社エンジンの特徴>

当社エンジンに使用されるレーザー光源は、独自の技術によりレーザー特有の問題であるスペックル(ちらつき)が低減され、レーザーの安全規格である「JIS C 6801 クラス - 1」レベルに該当する性能を保有しております。

LED光源と比較して発光効率に勝るため、より小型化・省エネが可能。

原色レーザーにより色純度の高い鮮明な画像。

レーザーの平衡光によって、投影距離を変えてもフォーカス調整が不要(フォーカスフリー)。

<対応アプリケーション>

昨年来発売されているピコプロジェクタエンジンを内蔵した「デジタルカメラ」や「携帯電話用プロジェクタユニット」をはじめ、「スマートフォン」 / 「ノートブックPC」 / 「メディアプレーヤー」 / 「ネットブック等携帯機器」など様々なアプリケーションへの対応が検討されております。

また、携帯電話の次世代通信規格がさらに高速化されたLTEや UMB(第3.9世代)へ移行し、フルHDなど高解像度の画像やデーターの配信が期待されますが、携帯端末の小さな画面では表示し切れない解像度の高い画像を、より大きな画面で見るためにピコプロジェクタエンジンを搭載した携帯機器の普及が一層促進されるものと想定されます。ピコプロジェクタエンジンの世界総需要数は2012年に2000~3000万台()と予測されており、Explay Japanは、新たな市場の要望に応え、これからも高品質で安全な製品開発を進めてまいります。 ()米国調査会社 Insight Media 社調べ



エー・ディ・エム株式会社

<Explay Japan 株式会社について>

所在地 : 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-12-8
事業内容 : レーザー光源ピコプロジェクタエンジンの開発と販売
設立 : 2009年12月
資本金 : 1億2500万円
役員 : 取締役会長・志摩 良一、代表取締役社長・山中 要、
取締役・牛見 史郎 / 矢島 英明 / Eran Harel / Meir Aloni,
監査役・島 由幸
株主 : モバイル・インターネットキャピタル株式会社 4,000株 <80%>
エー・ディ・エム株式会社 1,000株(20%)
関係会社 : XDM LTD. (イスラエル)
業務内容 : 製品設計開発
株主 : Explay Japan 株式会社



開発中の「ピコプロジェクタ用レーザーエンジン」

*このリリースに関するお問合せ先 *

Explay Japan 株式会社(<http://www.explay.co.jp>)

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-12-8

TEL:03-4455-3276 FAX:03-3264-7255

MAIL: info@explay.co.jp (お問い合わせはメールにてお願いいたします。)

担当:山中 要、越野 彰規